

地域活性化の動向

農林水産省大臣官房政策課 木村俊昭

目 次

- ・地域の現状と課題
 - ・人との出会い～一期一会
 - ・これまでの体験談・事例（成功と失敗）
 - ・地域活性化とは？
-
- ・地域と大学との連携（協働の場づくり）
 - ・地域活性学会と地域活性機構
 - ・地域活性化事例（広がり・連携）
 - ・農商工連携の推進（客体から主体へ）
 - ・戦略的システムデザインによる活性化

地域活性化とは？

全体の最適化「まち全体の最適化」 (部分最適化は関連付け・つなぐ工夫)

- ① 1人当たり県民・住民所得の向上(産業連関度)
- ② 地域の人財育成の仕組みづくり(高大連携)
- ③ 地域の汗かき人の評価のシステム化(図書館に活動を収蔵)
- ④ 地場産業(農林水産業等)の振興と新産業の創出
- ⑤ 女性の活躍の場づくり(支援システムの構築)
- ⑥ 地域と大学との連携の場づくり(県民・住民が主体)
- ⑦ 訪れやすい図書館等の施設活用(司書・学芸員の活躍の場)
- ⑧ 地域内外の人財ネットワーク化(地域の専門家のネットワーク)

地場企業の振興(エコミックガーデニングの実践)

- ① 地域にある人的資源や組織の「棚卸し」をすること。企業経営者、研究者、経済団体は言うまでもなく、職人、IT専門家、小中学校の先生に至るまで、「この人だったらこんなことが出来る」という人を見つける。(業課別)
 - ② 地域のローカルリーダー、そして1)で見つけた主要な人々や団体に、エコミックガーデニングに協力してもらえるように働きかける。
 - ③ エコミックガーデニングが長期に亘る取り組みであること、政治的な駆け引きの材料にしないことをわかってもらう。
 - ④ どんな企業を対象にエコミックガーデニングの各種のサービスを提供するのかを決める。対象が、成長の可能性が高い中小企業か、起業家のタマゴたちかで、サービスのメニューは大きく異なる。(通常従業員20人以上の企業を対象にすると効果大)(主たる産業を決める)
 - ⑤ 対象となる企業の経営者たちに指導やコーチをすることが出来る、目利きや達人を見つける。
 - ⑥ 企業経営者、目利きや達人、エコミックガーデニングを実施する人々との間でネットワークを充実させる。
 - ⑦ 他の地域でエコミックガーデニングや類似のプログラムを実施している人々と情報交換する。(当初、数か所で展開、ワールドカフェ等で実現)
 - ⑧ 経営者に資する、無料もしくは安価な情報がどこで入手できるのかを知っておく。公共図書館や専門図書館の司書や学芸員から協力を得る。
 - ⑨ インターネットや、ブログ、ツイッターなどの新規メディアを活用するマーケティングについて勉強して、ビジネスにどう活用できるかを試す。
 - ⑩ 新しい考えや一見ばかげた考えを尊重する。エコミックガーデニングは未来をデザインする活動であり、「正解」にこだわる必要はない。
- ・ガーデナー: 行政・経済団体 植物: 企業
庭: 地域社会
・実践例: 松本市、島根県

地域活性化システム論について(※平成20年度まで地域再生システム論)

『地域再生』政策の3本柱

地域再生を担うひとづくり
人材ネットワークづくり

補助金改革
(地域の自主裁量性尊重)

民間ノウハウ、
資金等の活用

【地域再生支援施策の活用】

大学を『地域の知の拠点』と位置付けるなど、省庁連携による多様なメニューで支援を実施。

地域再生
計画等の
策定

課題

地域固有の知の拠点である大学を活用し、地域課題を、学生・行政・NPO、地域づくり団体が一体となり「地域再生計画」等の策定作業を行う“場”づくり

『地域活性化システム論』

目的

現場のニーズに即した実践的なりサーチ・研究を実施、地域毎の具体的なアクションプランの作成を通じて、地域力の向上を図る。

講座内容

地域再生に関する①総論、②分野別の政策論、③具体的な地域での実例(全2単位付与)を想定。
内容は大学の独自性を重視。

推進体制

内閣官房が中心となり、各地域・各大学のニーズに対するコンサルティングを実施。省庁を超え、政策のキーパーソンを地方へ派遣支援。広報活動の協力。

具体的に実施

- 18年度：「地域再生システム論」として、北陸先端科学技術大学院大学でモデル実施(1校)
- 19年度：10大学で展開
- 20年度：25大学で展開
- 21年度：「地域活性化システム論」に改称。29大学で展開

地域活性化システム論（地域再生システム論）開講校

【平成18年度】モデル事業(1大学)

【平成19年度】10大学

【平成20年度】25大学

【平成21年度開講実績】29大学で展開

- * 足利工業大学(H21年度より開講) テーマ:足利市・両毛地域の活性化
- * 秋田県立大学(H20年度より開講) テーマ:秋田県農業の再生
- * 大阪大学(H20年度より開講) テーマ:医療・福祉、地域活性化、人材育成
- * 岡山大学(H20年度より開講) テーマ:農学と地域活性化(農と福祉、バイオマス)
- * 沖縄大学(H20年度より開講) テーマ:里海(イノー)、農と食、特産品開発、観光による地域再生
- * 小樽商科大学・室蘭工業大学(H19年度より開講) テーマ:観光戦略、地域ブランド戦略、ものづくり戦略
- * 鹿児島国際大学(H21年度より開講) テーマ:鹿児島の地域再生・活性化
- * 岐阜大学(H21年度より開講) テーマ:まちづくりリーダー養成
- * 京都橘大学(H20年度より開講) テーマ:「地域活性化」とは何か
- * 高知工科大学(H20年度より開講) テーマ:農業、観光、スモールビジネスによる地域活性化
- * 甲南大学(H20年度より開講) テーマ:六甲山の活性化
- * 滋賀県立大学(H20年度より開講) テーマ:大学連携、地域資源を活かした地域活性化
- * 島根大学(H19年度より開講) テーマ:地域資源を活用した産業振興
- * 信州大学(H19年度より開講) テーマ:信州の食、観光、文化振興、人材育成
- * 高崎経済大学(H19年度より開講) テーマ:地域づくり論、現代の地域づくり
- * 千葉大学(H20年度より開講) テーマ:地域活性化人材育成
- * 東京藝術大学(H20年度より開講) テーマ:芸術が地域にできること
- * 東京農業大学(H21年度より開講) テーマ:オホーツク地域の特性を生かした地域活力の再生
- * 東洋大学(H20年度より開講) テーマ:PPP制度手法論
- * 獨協大学(H19年度より開講) テーマ:これからの「まちづくり」のヒントを探る
- * 鳥取大学(H21年度より開講) テーマ:大山地域活性化
- * 法政大学(H19年度より開講) テーマ:人口オーナス進行(人口高齢化、人口減少)下の地域再生
- * 北陸先端科学技術大学院大学(H18年度より開講(モデル事業)) テーマ:バイオマス、伝統地場産業の活性化
- * 三重大学(H21年度より開講) テーマ:三重県内の実態分析・課題抽出
- * 宮城大学(H21年度より開講) テーマ:国土政策、住民参画、地方自治体の行財政改革
- * 明治大学(H21年度より開講) テーマ:地域活性化のコツ、連携による地域活性化
- * 和歌山大学(H20年度より開講) テーマ:観光を通じた地域再生
- * 早稲田大学(H19年度より開講) テーマ:北杜市の地域資源の有効活用



地域活性化の効果的な事業展開図

